

## 国際教養学部保護者会

会長 佐藤 登

2月18日(土)に本郷・お茶の水キャンパスにおいて、第4回役員会が開催されました。主な議事として、教材設備等助成に関する審議、学生課外活動補助に関する審議ならびに次年度以降の保護者会の体制・年間行事・予算編成方針に関して、活発に意見交換がなされました。

教材設備等助成に関しては、学生教育に係る委員会より必要な備品類の申請があり、全会一致で承認されました。また、同好会等学生課外活動補助に関しては、設立して間もないことから、今年度は全ての団体に一律で補助することに致しました。

これらの助成を通じて、学業ならびに学生生活が活発化し、国際教養学部の更なる発展に寄与する事を期待しています。次年度も更に有効な助成・支援ができるよう検討してまいります。保護者の皆様のご支援ご協力の方、よろしくお申し上げます。

## 後援会だより

### 医学部後援会

副会長 宮原 保之

6年生の保護者会の皆様には2月から3月にかけては国家試験、卒業式と行事が重なりご多忙な日々を過ごされたことと思います。ご子弟のご卒業おめでとうございます。

医学部後援会は順天堂大学医学部卒業生の保護者で構成されており、大学と会員との連絡を密にし、卒業後の子弟教育の効果向上に資するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的として活動しています。保護者会会員の皆様にはご子弟卒業後は後援会への加入をお願いしております。

後援会は6月に定時総会(大学から教授を招聘し講演会を開催、「地域医療・学術奨励賞」受賞者を表彰)、11月に三役会、翌3月に役員会の開催、卒業式、学祖祭等の大学行事への参加、医学部学生のスポーツ、文化、社会貢献活動等の支援協力、さらに保護者会と連携強化などの事業活動を行っています。

平成28年度は3月11日(土)に大学10号館105号室にて役員会が開催され、6月の定時総会に向けての事業報告、会計報告を承認し、協議事項として事業計画(案)、収支予算(案)を策定しました。また今年度は会長、監事の任期満了年であり、次期会長候補に藤巻 豊副会長、監事候補に河本 武、三留康義監事の再任を定時総会に諮ることを了承しました。

6月の定時総会における講演会の講師は順天堂大学医学部総合診療科並びに病院管理学教授の小林弘幸先生にお願いし、快諾していただいたことの報告がありました。その後、懇親会が開かれ、親睦を深めました。

今後の予定：定時総会 平成 29 年 6 月 24 日（土）午後 3 時  
センチュリータワー地下 1 階大会議室（予定）

後援会はご子弟の医師としての研鑽、学術の奨励のため活動しています。卒業生保護者の皆様の入会をお願い申し上げます。

## スポーツ健康科学部後援会【桜順会】

会長 神谷 隆一

### ◆大学の未来と桜順会について

保護者として順天堂大学と関わって 10 年が経ちました。その間、先生方と直接お話する機会も多く、様々なことを学び経験させてもらいました。

鈴木スポーツ庁長官とのお話では、「スポーツを産業、成長戦略として位置付けている」ということで、市場規模も 15 兆を予測しており、ヘルスケアなどの分野は「将来的には 50 兆、自動車産業と並ぶ産業になる」とも言われていました。

また、健康経営の会議でご一緒する機会がある野川特任教授は、「社員が健康であることが企業の成長や利益につながる。“健康”はすでに企業哲学である」という位置付けで啓蒙活動をされています。

“健康は社会学である”とはヘルスプロモーションの世界ですが、ここに来て広く一般社会でも“健康”の重要度が広まってきていると感じます。そしてそのことは正しく順天堂の役割が問われる時代になってきたのだと思います。

『桜順会』は卒業後も大学との関わりを持ち、学生が作る『順大スポーツ』新聞のサポートや、学生の地道なボランティア活動などの支援等を行ってきました。順天堂での学びが“社会での役割”の中での重要度を増している中、今度は卒業生の保護者が直接大学と関わることで、『桜順会』の活動や情報によって、より良い健康状態を目的とした“元気な生活ができる事”を作り上げて行く会にしていければと思っています。

多くの保護者の皆さまに『桜順会』への参加を期待すると同時に、保護者の皆さまには“順天堂がこれからの社会をより良い環境に導く原動力になって行く事”を応援していただければと存じます。